

総務分科会会議録

○開催年月日 平成30年4月6日（金）

午前10時12分 開会

午前11時25分 閉会

○場 所 第2常任委員会室

○出席委員（9名）

委員長	平 良 眞 一
委員	石 川 慶
委員	桃 原 功
委員	伊 波 一 男
委員	知 念 吉 男

副委員長	宮 城 克
委員	佐 喜 眞 進
委員	上 地 安 之
委員	—

○欠席委員（1名）

委員	我 如 古 盛 英
----	-----------

○説明員（0名）

○議会事務局職員出席者

主任主事	渡 嘉 敷 眞
------	---------

総務分科会

平成30年4月6日（金）

○平良眞一 委員長 ただいまから総務分科会を開会いたします。

（開会時刻 午前10時12分）

【議題】第3回議会報告及び市民との意見交換会について

○平良眞一 委員長 議会報告で報告する内容について、委員の意見を伺いたい。

～宮城克副委員長、議会報告に関する資料の読み上げを行う。～

○平良眞一 委員長 まず、「所管事務調査に関する報告について」意見を伺いたい。

○桃原功 委員 波力発電施設の実証実験を選定するのはどこの機関なのか。

○上地安之 委員 平塚市にて国内2カ所目の実証実験が行われ、3カ所目は沖縄県で行われると伺っている。関係者が平成30年4月22日に宜野湾漁港にて視察を行うこととなっている。

○桃原功 委員 宜野湾市以外も検討されたのか。

○上地安之 委員 すでに検討済みと考える。送電線までの距離等の地理的条件も含めて検討されているのではないか。

○平良眞一 委員 現在の報告資料では実証実験が本市で行われることが決定したと誤解される懸念があるため、表現を改めてはどうか。

○上地安之 委員 本市も候補地の一つという表現にすべき。

○桃原功 委員 実証実験では10世帯分の電力を発電することが目標とされているとの記載があるが、コストパフォーマンスが悪いという誤解を与えないか。

○議会事務局 あくまで実証実験段階の目標であり、実用化に向けては、複数台の装置を並列に設置する方法でコストダウンと発電量の増加を見込んでいると伺っている。

○桃原功 委員 市民から質疑のあった際にはしっかりと答えられるよう、準備が必要であると考えます。

○伊波一男 委員 視察報告のため、そのまま記載してよいのではないか。

○上地安之 委員 市民に誤解を与える可能性があるのであれば、あえて記載する必要はないのではないか。

○平良眞一 委員長 当該部分は記載しないこととしてよいか。

(「異議なし」)

○上地安之 委員 波力発電のメリットの中に「国から100%補助を受けることができる」との記載があるが、今後の補助率について明確でないため、「国から補助を受けることができる」と改めてはいかがか。

(「異議なし」)

○桃原功 委員 波力発電が「火力発電」と聞こえないよう、意見交換会では意識して発表を行っていただきたい。

○石川慶 委員 「発電の余剰分は東北電力に無償提供している」との記載は、過剰に発電量があるとの誤解を与えないか。

○平良眞一 委員長 当該部分は記載しないこととしてよいか。

(「異議なし」)

○平良眞一 委員長 次に、「沖縄県立普天間高等学校の移転整備に関する意見書提出後の進捗状況について」意見を伺いたい。

○桃原功 委員 平成30年12月に普天間第二小学校へ米軍ヘリの窓枠が落下しており、第二小学校の移転についても意見が出されると考えるが、議会としての考えを整理しておく必要はないか。

○平良眞一 委員長 今回はあくまでも普天間高校の移転に関する報告であるため、テーマ以外の質疑については、持ち帰って検討することといたしたい。

○伊波一男 委員 移転に係る経緯の説明が必要であると考え。前回も普天間高校の移転について報告していることから、前回の報告内容と今回の内容を分けて説明してはいかがか。

○平良眞一 委員 「総務常任委員会の取り組み」という頁は細かい説明が多く、全体の流れを理解しづらい。前回の議会報告でも同様の説明を行っていることから、簡潔にまとめる方がよいのではないか。

○宮城克 委員 簡潔にまとめてまいりたい。

○上地安之 委員 政府の骨太の方針などの説明は削除してよいのではないか。これまでの経緯を説明することに重点を置いてはいかがか。

○平良眞一 委員長 いただいた意見を基に、委員長、副委員長、議会事務局にて再度検討を行ってまいりたい。

○平良眞一 委員長 以上をもちまして、本日の会議を閉会いたします。

(閉会時刻 午前11時25分)